費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	—	①費用進行基準を採用した業務：事故・緊急対応経費 ②当該業務に関する損益等 今年度、損益計算書に計上した費用の額はありません。
	たな卸資産見返運営費交付金	—	
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	—	
会計基準第81第３項による振替額		—	○会計基準第81第３項による振替額はありません。
合計		4,868,514,939	

⑶　運営費交付金債務残高の明細

（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
平成23年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	115,626	・業務達成基準を採用した航海訓練業務について、業務完了が翌年度以降となっているものなど運営費交付金債務として翌事業年度以降に繰り越したもの。 ・上記については、翌々事業年度において計画どおりの業務を達成できる見込であり、翌々事業年度で収益化する予定です。
	期間進行基準を採用した業務に係る分	—	・期間進行基準を採用した業務について、運営費交付金債務残高はありません。
	費用進行基準を採用した業務に係る分	—	・費用進行基準を採用した業務について、運営費交付金債務残高はありません。
平成24年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	419,569,061	・業務達成基準を採用した航海訓練業務について、業務完了が翌年度となっているものなど運営費交付金債務として翌事業年度に繰り越したもの。 ・上記については、翌事業年度において計画どおりの業務を達成できる見込であり、翌事業年度で収益化する予定です。
	期間進行基準を採用した業務に係る分	—	・期間進行基準を採用した業務について、運営費交付金債務残高はありません。
	費用進行基準を採用した業務に係る分	—	・費用進行基準を採用した業務について、運営費交付金債務残高はありません。
	計	419,684,687	

７．運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細

（単位：円）

区分	当期交付額	左の会計処理内訳			適要
		建設仮勘定見返施設費	資本剰余金	その他	
独立行政法人航海訓練所船舶建造費補助金	450,000,000	450,000,000	—	—	内航用練習船建造
合計	450,000,000	450,000,000	—	—	

８．役員及び職員の給与の明細

（単位：千円、人）

区分	報酬又は給与		退職手当	
	支給額	支給人員	支給額	支給人員
役員	55,153	4(1)	—	—
職員	2,802,212	409(8)	333,519	28
合計	2,857,365	413(9)	333,519	28

㈱１．役員の報酬等の支給基準は、次のとおりである。
⑴　理事長　984千円（月額）
　　理事　776千円（月額）
　　監事　686千円（月額）
　　非常勤役員　250千円（月額）
⑵　独立行政法人航海訓練所役員報酬規程及び独立行政法人航海訓練所役員退職手当支給規程に基づき支給
⑶　支給人員の（　）は非常勤役員で、外数である。
２．職員の給与の支給基準は、次のとおりである。
⑴　独立行政法人航海訓練所職員給与規程及び独立行政法人航海訓練所職員退職手当支給規程に基づき支給
⑵　支給人員は、年間平均支給人員数である。
⑶　支給人員の（　）は非常勤職員で、外数である。

高速道路工事一部完了公告

本会社において、高速道路の工事の一部が下記のとおり完了しますので、道路整備特別措置法第22条第２項の規定に基づき公告します。

平成25年11月28日

東日本高速道路株式会社
代表取締役社長　廣瀬　博

記

路線名	工事の区間	工事の種類	工事完了の日
東北縦貫自動車道弘前線	秋田県鹿角郡小坂町小坂から秋田県鹿角郡小坂町小坂まで	改築工事	平成25年11月29日